



四中図書館だより

令和7年 10 月号
調布市立第四中学校
学校司書 佐藤知香子

令和 7 年度前期・多読者発表！

今年度前期までの多読者ランキング、上位3位を発表します！

1年生

順位	クラス	名 前	貸出冊数
1			65
1			65
2			62
3			42

2年生

順位	クラス	名 前	貸出冊数
1			100
2			79
3			77

3年生

順位	クラス	名 前	貸出冊数
1			495
2			365
3			218

ゴールドカード



*各学年、入学からの貸出し冊数合計です

個人貸出しカードの獲得方法！

◇個人貸出カードは、入学時からの貸出し冊数合計に応じて
ランクアップしたカードを発行しています。

カード名	貸出し合計	貸出し冊数	貸出し期限	長期休暇冊数
貸出しカード		3冊	2週間	10冊
クローバーカード	20冊	4冊	2週間	12冊
シルバーカード	75冊	5冊	2週間	14冊
ゴールドカード	150冊	6冊	2週間	16冊

新刊本入りました！

◇図書館に新刊本が入りました。下記の日程で展示・貸出しを行います。

◆展示：

10月9日（木）まで

◆本の貸出し：

10月10日（金）～

◇予約受け付中！

10月・おすすめの本・テーマ「奏でる」

上柳先生おすすめ図書！

『ボクの音楽武者修行』 913 オ

小澤征爾／著 新潮社



「音楽をやるためには、その音楽の生まれた土、そこに住んでいる人間をじかに知りたい」と、ギターを担ぎ、スクーターと貨物船に乗り込んだ「世界のオザワ」青年。24歳から2年余りの旅を綴った、自伝的エッセー。

『ソノリティ』 913 サ

佐藤いつ子／著 KADOKAWA



何事にも引っ込み思案な中学一年の早紀。自分の意見をはっきり言えず、合唱コンクールの指揮者に選ばれてしまう。コンクールに向けクラスは一体となり、歌声は会場に響き渡るのか。

『終止符のない人生』 762 ソ

反田恭平／著 幻冬舎



第19回ショパン国際ピアノコンクール本選の第一ステージが10月3日に始まる。数あるコンクールの中でも最古の1927年に始まった由緒あるコンクールである。本書は、2021年日本人として51年ぶり、2位に輝いた著者の軌跡と未来へのメッセージである。

【新書】について

◇ 図書館には、いろいろな種類（形式）の書籍があります。「単行本」、「文庫本」はいつも手に取り読んでいますね。今回は「新書」について、紹介しましょう。

◇【新書の定義】

「出版形式の一つで、B6版より小型（新書版）のシリーズをいう。173mm×106mmが標準である。新書という名称は、イギリスのペリカン・ブックス（ペンギン・ブックス）に範を取り1938年に岩波書店が創刊した〈岩波新書〉に由来する。（中略）〈現代人の現代的教養〉を追及する、いわゆる教養書としての性格を備え、分量も手ごろで廉価なこともあって学生、知識人を中心に安定した読者を獲得した」

引用『世界大百科事典第14巻』2014年改定新版第6冊／平凡社

◇【各出版社・新書の特徴】

★〈岩波ジュニア新書〉・〈岩波ジュニアスタートブック〉／岩波書店

☆〈ジュニア新書〉：「中学・高校生・大学生から一般」向けに書かれており、探求学習を進めるうえで役立つテーマ、論理的思考力を高めるのに役立つ。多様な執筆者による評論、論説などを数多く刊行。

☆〈ジュニスタ〉：従来中高生を中心に大人まで幅広く支持されてきた「岩波ジュニア新書」の蓄積を生かした学習入門シリーズ。中学生が可能性を広げていくための「学び」に役立てる。
「岩波書店 HP より」

『木が泣いている』 652ナ

長濱和代／著 岩波書店



大阪・関西万博会の「大屋根リング」は、世界でも有数の森林国ならではの、会場のシンボルとなる建築物です。本書を通して身近

な森林の変遷をたどり、「ウッドチェンジ」の発想を考えてみませんか。

『数の「発見」の物語』 410ミ

宮崎弘安／著 岩波書店



1、2、3…の自然数、0、負の数、無理数と、さまざまな「数」はどのように発見されてきたのか。現代数学、現代科学にな

くてはならない基礎を発見した歴代の数学者を、知ることができます。



★〈ちくまプリマー新書〉／筑摩書店

☆プリマー（primer）「初歩読書、入門書」を意味し、現代を生きる上で必要な事が分かりやすく表現され、「プリマー新書は最初の新書」と、HPで謳っている。

『世にも美しい数学入門』410フ

藤原正彦／小川洋子／著 筑摩書店



「博士の愛した数式」の著者が、数学者に素朴な質問を投げかける形式の本書。「博士の愛し…」の読後に読まれることを、お薦めしたい。

『ナイチンゲール』 289ナ

金井一薫／著 筑摩書店



ナイチンゲールは「戦争で負傷者を介護した」女性と、イメージしていませんか？実は統計学にすぐれ、働き方改革の先駆者だったのです。

★〈光文社〉新書／光文社

☆かつて「カッパ・ブックス」がブームになるなど、時代に敏感な内容の新書を出版している。

『バッタを倒しにアフリカへ』 486マ

前野ウルド浩太郎／著 光文社新書



アフリカで大量発生し、農作物を食い荒らすバッタ被害を防ぐため、昆虫学者が単身サハラ砂漠へ。本書は2018年、毎年その前年に刊行されたすべての新書の中から「最高の一冊」を選ぶ「新書大賞」に、選ばれている。